

北海道大学低温科学研究所共同研究集会: アイスコアに関する研究集会

日程：2025年7月13日（月）~7月15日（火）

会場：北海道大学低温科学研究所3F講堂+zoom（ハイブリッド形式）

代表者：大藪幾美（国立極地研究所）、世話人：飯塚芳徳（北海道大学 低温

2026/7/13		発表時会場：講堂3F			
No.	座長	時間	発表者	所属	発表タイトル
1		9:00 9:10	大藪幾美	国立極地研究所	共同研究集会代表者挨拶
2	上田紗也子	9:10 9:35	松崎倭太郎	北海道大学大学院環境科学I	グリーンランド南東ドームアイスコアに含まれるブラックカーボンと硫酸アンモニウムの混合粒
3		9:35 10:00	上田紗也子	名古屋大学	SE-Dome IIアイスコアの粒径別黒色炭素濃度と燃焼由来水不溶性粒子の観察
4		10:00 10:25	渡邊祥多	北海道大学大学院環境科学I	SE-Dome IIアイスコアを用いた過去約200年間の有機エアロゾル変動の復元
		10:25 10:45			休憩（20分）
5	渡邊祥多	10:45 11:10	三宅美沙（オンライン）	名古屋大学宇宙地球環境研I	南極氷床コアの10Be分析による宇宙線スパイクの調査
6		11:10 11:35	中島光貴（オンライン）	金沢大学大学院自然科学研I	GEOS-Chemモデルにおける遠隔域での硝酸エアロゾルの動態改善
7		11:35 12:00	的場澄人	北大低温研	グリーンランド南東ドームアイスコア中の不溶性微粒子の変動が環境に与える影響
		12:00 13:10			休憩（70分）
8	黒崎 豊	13:10 13:35	栗栖美菜子	東京大学大気海洋研究所	グリーンランドSE-Dome IIアイスコアから読み解く鉄の溶解性変化とその要因
9		13:35 14:00	黒崎 豊	北海道大学低温科学研究所	SE-DomeアイスコアのMSAの解析
10		14:00 14:25	近藤ひかる	北海道大学環境科学院	東バミール・Kon Chukurbashi氷帽アイスコアの年代決定と表面質量収支の復元
11		14:25 14:50	北爪正希	北海道大学環境科学院	南極H128アイスコアを用いた積雪再配分および周辺海域の海水復元
		14:50 15:10			休憩（20分）
12	松本真依	15:10 15:35	松本真依	北海道大学大学院環境科学I	グリーンランド・南東ドームアイスコアの構造異方性の形成過程
13		15:35 16:00	柳沼蒼良	北海道大学大学院環境科学I	南極沿岸域H128地点の表層付近における構造異方性と気候変化の関係
14		16:00 16:25	堀 彰	北見工業大学	南極DF2001浅層コアの密度解析

懇親会 1（ジンパ）

2026/7/14		発表時会場：会議室2F			
No.	座長	時間	発表者	所属	発表タイトル
15	熊倉有希	9:00 9:25	岡有彌	総合研究大学院大学	北東グリーンランド・EGRIP試料を対象とした微生物解析計画
16		9:25 9:50	佐藤 里桜	弘前大学	グリーンランドSE-Dome IIアイスコアから得られた1930年代の準月別10Be記録
17		9:50 9:15	熊倉有希	弘前大学理工学研究科	ドームふじ観測拠点II近傍のトレンチ観測から得られた複数の ¹⁰ Be垂直プロファイル（仮）
18		10:15 10:40	和田大輝	弘前大学理工学研究科	南極ドームふじアイスコアが示す25～29万年前の10Be変動
		10:40 11:00			休憩（20分）
19	小林 英貴	11:00 11:25	小林 英貴	富山大学	古気候海洋炭素循環モデリングから考える氷期-間氷期間の CO2 変動メカニズム
20		11:25 11:50	岡崎淳史	千葉大学	TBD
21		11:50 12:15	Takuro Aizawa	国立極地研究所/気象研究所	（仮）グリーンランドの気候場と降水量の季節コントラストについて
		12:15 13:25			休憩（70分）
22	鈴木舞生	13:25 13:50	鈴木舞生	総合研究大学院大学	切削法によるアイスコア中CO2の高精度分析手法の開発
23		13:50 14:15	石野咲子	金沢大学	過酸化水素同位体分析の進捗報告
24		14:15 14:40	川村賢二	国立極地研究所	第3期ドームふじ深層掘削 第68次隊（2シーズン目）の進捗と今後の計画
25		14:40 15:05	浅尾 宗洋	総合研究大学院大学	火山マッチングによる第3期ドームふじコアの速報的な年代推定 (0-1780 m)
		15:05 15:25			休憩（20分）
26	井上峻	15:25 15:50	藤田秀二	国立極地研究所	ドームふじの2本の深層アイスコア(DF1とDF2)の年代同期をDEP信号をいれて更新
27		16:15 16:40	藤田秀二	国立極地研究所	誘電テンソル計測法の発展
28		15:50 16:15	大藪幾美	国立極地研究所	ドームふじアイスコアの年代決定
29		16:15 16:40	井上峻	国立極地研究所	極域氷床のフィルンにおける気泡の15NとO2/N2、Ar/N2の深度分布
30		16:40 17:05	飯塚芳徳	北海道大学低温科学研究所	「低温科学」の紹介＋その他

懇親会 2（飲み屋）

2026/7/15		若手会（9時～12時半頃）	
1	講師：小林 英貴（富山大）	地球システムを数式で記述する ― 気候モデル入門とハンズオン	
2	講師：黒崎 豊（低温研）	NetCDFに関する講習	2名合わせて11時半～12時ごろまでの予定
3	低温室・実験室ツアー	30分程度	遅くとも12時半までには終了する予定